

小田原市市民活動応援補助金交付事業一覧(令和5年度)

<スタートアップコース>(上限10万円)

No	事業名	団体名	事業概要	交付額(円)
1	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原周知セミナー	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原	障害のある子の「親なきあと」相談室小田原は、障害のある子のご家族の悩みや相談の内容に対してワンストップで解決の方向をご案内する活動をしていきます。今回は、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長の又村あおい氏と、ヤングケアラーの支援もしている静岡きょうだい会代表沖侑香里氏をお招きしてセミナーを催し、障害のある子の「親なきあと」相談室小田原の周知をはかることが目的です。また、年度内に数回のミニセミナーを実施予定。	100,000
2	声で繋がる子どもと大人の「声の万華鏡」	声の万華鏡実行委員会	本事業は、朗読や読み聞かせ、民話語り、落語等、子どもからお年寄りまで様々な語り手が、一堂に集い交流して、声の文化を広める機会を創ります。同時に、子どもたちが元気にあいさつできるよう、音読や民話語りで集う「子どもの声の万華鏡」を実施し、声を出す大切さを広めます。	100,000
3	乳がん啓発「ピンクリボン運動」を中心とするがん検診啓発事業	ピンクリボンふらずODAWARA 女性のがんを考える会	乳がん検診をはじめとするがん検診や、小田原市内で低迷が続いている健康診断(特定検診)などの受診率を向上させ、がんの早期発見・早期治療の推進につなげるために、女性を中心とする一般市民を対象に、がんの正しい知識を高めることを目的とした講演やトークイベント、啓発展示、啓発物配布などの事業を行う。	100,000
4	小田原早川上水の保全に係る環境整備事業	小田原早川上水をつなぐ会	我が町小田原には北条の偉大な実績であり、日本最古の上水と言われている小田原早川上水があります。この上水の保全と認知度アップを目指し、これからの世代につなぐため、上水取水口周辺及び流域の環境整備(清掃及び美化活動)を行います。	100,000
5	ジュニア弦楽合奏団の団員拡大事業	小田原ジュニア弦楽合奏団	少子化で衰退していくジュニア合奏団を今後も継続し、地域に広めていくため、青少年を対象に楽器体験会、初心者にアンサンブルを経験できる企画を行います。	100,000

<ステップアップコース プランA>(事業費の70% 上限20万円)

No	事業名	団体名	事業概要	交付額(円)
6	バリアフリーおだわらフォーラム事業	バリアフリーネットワークおだわら	「バリアフリーのまち小田原」を推進することを目的に、市民、学校、企業等のあらゆる分野の人々に呼びかけ、市民フォーラムを開催する。これにより、市民の共生社会への関心を高めバリアフリーのまちづくりをすすめる地域力を高める。	120,000
7	鉄道をテーマにした市民参加型行事の開催	小田原鉄道歴史研究会	市民および観光客に『鉄道のまち小田原』をPRし、興味・関心を持ってもらい“新しいまちづくり”のお手伝いをします。 1. 講演会、工作教室、朗読会、ハイキングを実施します。 2. 定期開催の鉄道資料展にて写真・資料等展示します。 3. “鉄道スポット発見キャンペーン”を継続させて、市民のみならずとも鉄道遺跡を発掘していきます。 各事業、各行事を通じて『鉄道』への意識高揚を図ります。参加者からの感想や意見を事業に反映させ、より効果的な活動を続けていきます。	100,000
8	小田原寺子屋スクール2の授業および青少年による課外活動	小田原寺子屋スクール2	I. 青少年を主とした一般市民を対象に、健全な青少年の育成や社会教育の推進に寄与することを目的とし、人生を送る上で必要な心構えを学ぶ授業「小田原寺子屋スクール2の授業開催事業」を行う。 II. 青少年の社会的変化対応力の向上、地域社会・仲間とのつながりの形成、地域社会と日本の社会が必要とする課題の解決とキャリア形成、将来のリーダーの創出のために青少年による課外活動チームでの活動を実施する。	200,000
9	ママいつまでも元気でね！プロジェクト	おだわら児童館連合	子育てに忙しい女性たちが、自分の健康に関心を持ちがん検診を受けるきっかけづくりを行う。	200,000

<ステップアップコース プランB>(事業費の50% 上限30万円)

No	事業名	団体名	事業概要	交付額(円)
10	フードバンク事業による生活困窮者の方々への支援(2)	特定非営利活動法人 報徳食品支援センター	小田原市を拠点に神奈川県2市8町他で、NPO法人「報徳食品支援センター」はフードバンク事業をこの3年間展開している。市町行政、各社協等と連携して生活困窮者の方々に無償で食品を配布している。昨年度は、本補助金を頂き、要望の多い冷凍食品の配布を充実してきた。特に一人親家庭(シングルマザー等)を中心に実施してきたが、国の補助も来るようになったため、物価高騰の中で、国の補助が手薄な相対的に生活が苦しくなってきた年金に頼る高齢者世帯に冷凍食品などの食品を老人会自治会等と連携して提供する。	300,000

交付額合計 1,420,000